

第5章 微分法
第1節 導関数

1 微分係数と導関数 2 導関数の計算

① 微分係数と導関数

1 関数 $f(x)$ の $x=a$ における微分係数

$$f'(a)=\lim_{h\rightarrow 0}\frac{f(a+h)-f(a)}{h}=\lim_{x\rightarrow a}\frac{f(x)-f(a)}{x-a}$$

2 関数 $f(x)$ の導関数 $f'(x)=\lim_{h\rightarrow 0}\frac{f(x+h)-f(x)}{h}$

② 微分可能と連続

関数 $f(x)$ が $x=a$ で微分可能ならば、 $x=a$ で連続である。

【注】 関数 $f(x)$ が $x=a$ で連続であっても、 $x=a$ で微分可能であるとは限らない。

③ 導関数の公式

関数 $f(x)$ 、 $g(x)$ 、 $h(x)$ がいずれも微分可能であるとき

- 1 $\{kf(x)\}'=kf'(x)$ ただし、 k は定数
- 2 $\{f(x)+g(x)\}'=f'(x)+g'(x)$
- 3 $\{f(x)-g(x)\}'=f'(x)-g'(x)$
- 4 $\{f(x)g(x)\}'=f'(x)g(x)+f(x)g'(x)$
 $\{f(x)g(x)h(x)\}'=f'(x)g(x)h(x)+f(x)g'(x)h(x)+f(x)g(x)h'(x)$
- 5 $\left\{\frac{1}{g(x)}\right\}'=-\frac{g'(x)}{\{g(x)\}^2}$
- 6 $\left\{\frac{f(x)}{g(x)}\right\}'=\frac{f'(x)g(x)-f(x)g'(x)}{\{g(x)\}^2}$

x^p の導関数 p が有理数のとき $(x^p)'=px^{p-1}$

④ 合成関数の微分法

1 微分可能な2つの関数 $y=f(u)$ 、 $u=g(x)$ について $\frac{dy}{dx}=\frac{dy}{du}\cdot\frac{du}{dx}$

【注】 $\{f(g(x))\}'=f'(g(x))g'(x)$ のように書き表すこともできる。

2 a 、 b は定数、 p は有理数とする。関数 $f(x)$ が微分可能であるとき

$$\frac{d}{dx}f(ax+b)=af'(ax+b), \quad \frac{d}{dx}\{f(x)\}^p=p\{f(x)\}^{p-1}f'(x)$$

⑤ 逆関数の微分法 $\frac{dy}{dx}=\frac{1}{\frac{dx}{dy}}$

第2節 いろいろな関数の導関数

3 いろいろな関数の導関数

① 三角関数の導関数，対数関数の導関数，指数関数の導関数

$(\sin x)'=\cos x$ $(\cos x)'=-\sin x$ $(\tan x)'=\frac{1}{\cos^2 x}$

$(\log x)'=\frac{1}{x}$ $(\log_a x)'=\frac{1}{x\log a}$ $(\log|x|)'=\frac{1}{x}$ $(\log_a|x|)'=\frac{1}{x\log a}$

$(e^x)'=e^x$ $(a^x)'=a^x\log a$

自然対数の底 e の定義 $e=\lim_{k\rightarrow 0}(1+k)^{\frac{1}{k}}=2.71828\cdots$

【注】 微分法や積分法では、 e を底とする対数、すなわち自然対数のときに、底 e を省略して、単に $\log x$ と書くことが多い。

② x^α の導関数

α が実数のとき $(x^\alpha)'=\alpha x^{\alpha-1}$

③ 対数微分法

- 1 関数 $y=f(x)$ について、両辺の絶対値の自然対数を取り、両辺を x で微分して、導関数を求める方法を対数微分法という。
- 2 積・商・指数・累乗の形の関数を微分するとき、対数微分法を使うと、計算が簡単になる場合がある。

4 第 n 次導関数 5 曲線の方程式と導関数

① 第 n 次導関数

関数 $y=f(x)$ について

第2次導関数とは、 $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ を微分した関数で

$$y'', \quad f''(x), \quad \frac{d^2y}{dx^2}, \quad \frac{d^2}{dx^2}f(x) \text{ などの記号で表す。}$$

第 n 次導関数とは、 $f(x)$ を n 回微分して得られる関数で

$$y^{(n)}, \quad f^{(n)}(x), \quad \frac{d^ny}{dx^n}, \quad \frac{d^n}{dx^n}f(x) \text{ などの記号で表す。}$$

② 曲線の方程式と導関数

方程式 $F(x, y)=0$ で表される関数（陰関数）の導関数は、（合成関数の微分法により）

$$\frac{d}{dx}f(y)=\frac{d}{dy}f(y)\cdot\frac{dy}{dx} \text{ を用いて、両辺を } x \text{ で微分する。}$$

③ 媒介変数表示と導関数

$$x=f(t), \quad y=g(t) \text{ (} t \text{ は媒介変数) のとき} \quad \frac{dy}{dx}=\frac{\frac{dy}{dt}}{\frac{dx}{dt}}=\frac{g'(t)}{f'(t)}$$